

## 5) その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

播種性血管内凝固、敗血症、真菌症、手術・処置等の合併症の患者数と発生率を集計します。

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一		
		異なる		
180010	敗血症	同一		
		異なる		
180035	その他の真菌感染症	同一		
		異なる		
180040	手術・処置等の合併症	同一		
		異なる		

傷病名が入院契機（入院のきっかけとなった病名）と「同一」または「異なる」に分けて集計します。

「同一」は、入院契機の病名と、診療報酬が請求された病名が同一の場合が当てはまります。

「異なる」は、入院契機の病名と、診療報酬が請求された病名が異なる場合が当てはまります。

例) 心臓の手術の目的で入院し、手術後、感染症を起こし、感染症で請求された。

[傷病名の説明]

○播種性血管内凝固症候群

様々な原因で、全身の血管に小さい血液のかたまりが無数に生じる病態。このため血小板や凝固因子が大量に消費され、非常に出血しやすくなります。

○敗血症

血液に細菌が入り全身に回り、重症な状態。

○真菌症

真菌に感染して起こる病気。代表的な真菌症：白癬（はくせん）菌による水虫、カンジダによるカンジダ症など。

○手術・処置等の合併症

手術や処置などに一定割合で発生してしまう病態。術後出血や創部（傷口）の感染などのほか、体内・血管内の挿入物の合併症も含んでいます。合併症は、最善の治療を行った場合にも一定の確立で生じる病気や状態であり、医療ミスとは異なります。